

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2014年6月25日

新しい暮らしのビジョンでデザインする、これからの住まい

HYBRID Advance Design Model

ハイブリッドアドバンスデザインモデル



建物外観

- 鉄骨ユニット工法の可能性を追求したコンセプトモデル
- 「自由で美しいデザインと豊かな生活デザインの融合」がコンセプト
- これからの暮らしに必要な 5つのデザインを提案

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、これからの暮らしを見すえて健康や防災、快適などの新しい提案を多数盛り込んだ鉄骨系ハイブリッド住宅のコンセプトモデル「HYBRID Advance Design Model（ハイブリッド アドバンスデザインモデル）」を、このほどミサワパーク東京内（東京都杉並区）に建設しました。

ミサワホームの鉄骨系ハイブリッド住宅は、1976年に“自由性と低価格とを同時に有する高品質な住宅を、高度に工業化された供給システムによって大量供給する”という国家プロジェクト「ハウス55計画」に入選しており、さらに研究開発を重ねて1981年に「ミサワホーム55」として商品化した後、30年以上にわたってブランド展開しています。1989年には各ユニットの工場生産化率を90%まで高めた最先端のカプセルユニット構法の戸建商品「NEAT INNOVATOR（ニート イノベーター）」を、1998年には世界初のゼロ・エネルギー住宅として「HYBRID-Z（ハイブリッド ゼット）」を発売するなど、これまで常に時代をリードし、工業化住宅の先進性や可能性を追求してきました。耐震性・耐久性に優れた構造体である鉄骨ユニットに、断熱性や耐火性、遮音性などに優れた独自開発のニューセラミック外壁を組み合わせていること、各ユニットを工場生産することによる短工期と施工精度の高さなどが特長です。

「HYBRID Advance Design Model」は、今後の社会に対応する住まいのあり方として、「新しい暮らしのビジョンでデザインする、これからの住まい」をテーマに開発したコンセプトモデルです。ミサワホームの鉄骨ユニット工法の可能性を高める技術と、これからの暮らしにおいて最も大切な5つのデザインを提案しています。

- 「ツナガリ」～近隣や友人、家族との交流を深める場をつくるためのデザイン
- 「ソナワリ」～防災や減災、防犯など非常時のリスクに備えるデザイン
- 「スコヤカ」～誰もが末永く元気に暮らせるようサポートするためのデザイン
- 「イゴコチ」～自然の心地よさを活かし快適な室内環境をつくるためのデザイン
- 「ヨリソイ」～将来の変化へ柔軟に対応し、愛着を持てるデザイン

シンメトリー（左右対称）でシンプルな造形に適したユニット工法の特長を活かし、外観は東西南北の4面とも、安定感があり飽きのこないシンメトリーなデザインとしました。2階正面はニューセラミック外壁による大壁面と連続窓で構成することにより水平ラインを強調したほか、2階が大きくせり出したオーバーハングと1階コーナー部の柱を省く新技術によって、立体的で浮遊感のあるデザインを実現しています。

ミサワホームは、「HYBRID Advance Design Model」に盛り込んだ様々な要素技術や生活提案を今後の商品やサービスにおいて展開していくとともに、これからの社会に柔軟に対応しながら、引き続き、企業理念として掲げる「豊かな社会の実現」を目指した住まいづくりに取り組んでいく考えです。

■「HYBRID Advance Design Model」のコンセプト

「自由で美しいデザインと豊かな生活デザインの融合」をコンセプトに、家族形態やライフスタイルの多様化に対応するためにユニット工法の設計自由度をさらに向上させ、これを活かした生活提案を盛り込みました。また、資産価値の高いストック住宅として長く住み継がれることを想定し、シンプルで美しく飽きのこない外観デザインとしています。

■自由で美しいデザイン

○ユニット工法の設計自由度を高める提案

ユニット工法の強靱さを活かし、2階が3面にわたってせり出したオーバーハング設計を提案しています。また、本来ルームサイズが基本となるユニットを屋内と屋外にまたがる配置にしたことで、サニタリーとバルコニーが連続した設計を可能にしています。さらに、ユニット単位で解体・組立・移動が可能な構造を活かして比較的容易に増築・減築ができるほか、今後は移築についても検討を進め、より長く住み継がれる住宅を目指します。

○美しいデザインを実現する提案

1階壁面の天然石の素材感を再現した濃色の外装タイルと、2階壁面に採用した淡色のニューセラミック外壁とのコントラストに加えて、1階コーナー部分の柱を省ける新技術の採用により、浮遊感のある建物デザインとしています。手彫り模様で豊かな陰影を感じさせる2階正面のニューセラミック外壁は、今回、大きいサイズを使用しているため継ぎ目が少なく、一枚の大壁のような存在感です。さらに、断熱性を高め、厚みを増した新提案の「3重層断熱構造*」が、開口部まわりの奥行きを強調することで重厚感を演出しています。東西及び南面は、オーバーハング設計とインナーバルコニーによって軒に奥行きを与え、建物全体の陰影を強調しています。

■豊かな生活デザイン

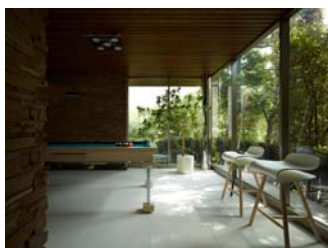
「HYBRID Advance Design Model」では、これからの豊かな生活の実現のために以下の5つのデザインを提案しています。

○ツナガリ

家族や友人、地域との気軽な交流スペースとして、1階にコミュニケーションポーチを設置しました。2階が2.5M（約2.2m）オーバーハングしているため深い軒下空間が確保され、居心地の良さが向上しています。1階のピロティ空間は一部をガラスで仕切り、外部とのつながりを意識した「アクティブリビング」としました。2階のリビングダイニングは自然に家族が集うように、バルコニーや吹き抜けを設けた開放的な設計としています。また、2階の四隅には空間ごとの生活シーンに合わせたさまざまな用途に応用できる「サポートユニット」を新たに提案しています。



コミュニケーションポーチ



アクティブリビング



サポートユニット

○ソナワリ

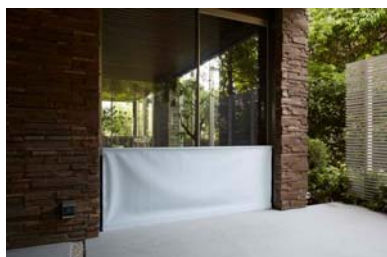
日常の安全・安心を確保するための工夫として、複数のモニター映像をつないで家全体を上部から見渡せる「アラウンドモニターセキュリティ***」や、侵入盗の被害に備えて貴重品を隠せる「防犯用隠し扉」を提案しています。さらに、平常時から災害後の生活までを想定した独自の「MISAWA Life Continuity Plan：生活持続計画」に基づき、被災後のライフラインの確保までをサポートするための先進的な提案も盛り込みました。

「MISAWA Life Continuity Plan」に基づいた提案

- ・オリジナル制震装置「MGEO-H」
- ・建物の震度と被災度を判定し地震後の迅速な対応を支援する「震度モニター***」
- ・ゲリラ豪雨や河川増水などによる建物内への水の浸入を抑える「防水シート***」
- ・非常時に生活用水として使用可能な「雨水貯留システム***」
- ・非常用トイレや浄水装置を備えた「防災ベンチ」
- ・3階に一時避難場所としても使用可能な災害備蓄収納を設置
- ・大量の生活用品や食糧を良好な保存状態でストックできる「地下備蓄庫」
- ・ICタグを取り付けた備蓄物を非常時に運んでくる「ロボット収納*」



MGEO-H



防水シート



地下備蓄庫



ロボット収納

○スコヤカ

ミサワホームでは、健康で元気に暮らせる“元気寿命”を延ばすために、「住まい」にできることを研究しています。「HYBRID Advance Design Model」では、そのうち質の高い睡眠や日常生活における健康管理などについての技術を盛り込んでいます。

質の高い睡眠をサポートする工夫

- ・寝室横にヨガやストレッチが可能なスペースを提案
- ・就寝前にリラックスできる畳の小上がりスペース「ごろ座」を採用
- ・サーカディアンリズムと呼ばれる約 24 時間周期の体内時計に基づいた快眠デザイン空間を提案*。就寝及び起床時に適切に調節された照明や環境音、香りなどを体感することが可能です。
- ・ベッドの脚部にセンサーを搭載し睡眠時の体の動きを感知。睡眠の質をデータ化して端末に表示***することで、日々の健康管理に役立てることが可能です。

日常的な健康管理の提案

- 消費カロリーや体重、体脂肪、血圧などの数値を管理できるウェブサービス「カラダログ[※]」や、それらのデータを全身鏡に表示する「健康モニタリングミラー[※]」によって健康データが確認できる体調管理スペース「健康サニタリー」を提案。
- 健康モニタリングミラーに、家族それぞれの一日の行動履歴を映す「家族の日記[※]」や、子どもの成長を記録できるデジタル版「柱の傷[※]」を表示し、家族のコミュニケーションを促進します。



小上がりスペース「ごろ座」



健康モニタリングミラーの表示例

○イゴコチ

木の温もりや水の揺らぎなどから感じられる安心感と微気候デザイン設計とを融合させた“心地よい暮らし”を提案します。建物外部には自然素材が原料のニューセラミック外壁や天然石調の外壁、木製の軒天材を、建物内には天然木を使用したフローリングや珪藻土クロスを使用し、敷地内には水盤を配置することで水の揺らぎを感じられる工夫を盛り込んでいます。

- 1階外部には親水性・吸水性塗膜によってルーバー全面に水を行き渡らせることにより、高い打ち水効果が期待できる「クールルーバー[※]」を設置
- 体にジェットエアを吹き付け、室内への花粉や埃などの持ち込みを抑える「ホームエアシャワー」を玄関脇に設置
- 換気システムに高捕集外気フィルターを付け、PM2.5などの大気汚染物質の侵入を抑制
- 全館空調システムで部屋ごとの温度差を解消し、温度のバリアフリーにも配慮



クールルーバー



ホームエアシャワー

○ヨリソイ

東西南北の4面ともシンメトリー設計とし、オーバーハング部分の連続窓を中心とした水平ラインを強調するなど、シンプルながらもいつまでも愛されるデザインを提案しています。また「3重層断熱構造※」を新たに採用し、断熱性と遮音性を向上させたいうえ、将来への備えとして配管スペースを確保することも可能です。壁の厚みが増すことで、さらに陰影のある豊かな外観ファサードにもなります。

また、ユニット工法ならではの可能性を活かした長く住み継げる住まいを提案しています。スケルトンインフィル設計とすることでライフステージに合わせた空間の可変性を確保しており、増築や減築への対応も可能です。転居の際にユニットを分離し、転居先に輸送する効率的な「移築システム」についても、今後検討していきます。

文中での表記について

コンセプトとして提案しており、発売予定の無い設備類については「※」、今後、発売を予定している設備類については「※※」と表記しています。

以 上

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 広報・IR課 武田路和 宮田智

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

MAIL : Satoshi.Miyata@home.misawa.co.jp

参考資料

■ 「HYBRID Advance Design Model」 プラン



1F



2F



3F

1F/108 m² 2F/135 m² 3F/43 m² 延床面積/286 m² (86.51 坪) 建築面積/135 m²
※床面積にカーポート部分を含み、小屋裏収納部分は含みません。